

みずほCustomer Desk Report 2022/02/22号 (As of 2022/02/21)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	115.08
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	114.97	1.1317	130.07	1.3590	0.7171
SYD-NY High	115.11	1.1391	130.87	1.3639	0.7222
SYD-NY Low	114.72	1.1307	129.75	1.3588	0.7164
NY 5:00 PM	114.72	1.1311	129.75	1.3603	0.7189
NY DOW	-	-	日本2年債	-0.0200	0.00bp
NASDAQ	-	-	日本10年債	0.2100	0.00bp
S&P	-	-	米国2年債	-	-
日経平均	26,910.87	▲ 211.20	米国5年債	-	-
TOPIX	1,910.68	▲ 13.63	米国10年債	-	-
シカゴ日経先物	-	-	独10年債	0.1970	▲0.50bp
ロンドンFT	7,484.33	▲ 29.29	英10年債	1.4020	2.60bp
DAX	14,731.12	▲ 311.39	豪10年債	2.1950	▲4.20bp
ハンセン指数	24,170.07	▲ 157.64	USDJPY 1M Vol	7.18	0.08%
上海総合	3,490.61	▲ 0.15	USDJPY 3M Vol	7.17	0.14%
NY金	-	-	USDJPY 6M Vol	7.20	0.04%
WTI	-	-	USDJPY 1M 25RR	-1.30	Yen Call Over
CRB指数	-	-	EURJPY 3M Vol	8.90	0.26%
ドルインデックス	96.08	0.03	EURJPY 6M Vol	8.75	0.15%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月21日	16:00	独 PPI(前年比/前月比)	1月 25%/2.2%	24.4%/1.5%
	17:30	独 マークイット(製造業/サービス業/コンポジット)PMI・速報	2月 58.5/56.6/56.2	59.8/53.1/54.5

【本日の予定】

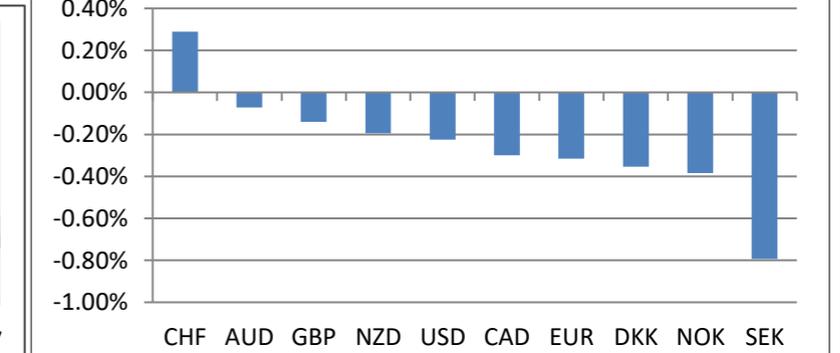
Date	Time	Event	予想	前回
2月22日	18:00	独 IFO(企業景況感/現況/期待)指数	2月 96.5/96.5/96.2	95.7/96.1/95.2
	23:45	米 マークイット(製造業/サービス業/コンポジット)PMI・速報	2月 56.0/53.0/-	55.5/51.2/51.1
2月23日	00:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	2月 110.0	113.8

東京	東京時間のドル円は114.97レベルでオープン。日経平均株価が大幅暴落を受けて上値重く推移するも、仲値前に仏大統領は米首脳会談を提案し、双方が受け入れたという報道が出たことで円売りが急速に加速し115.11を打ち、その後ユーロでドルが売られる流れに上値を切り下げ、114.97レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は114.97レベルでオープンし、ウクライナ情勢の不透明感から方向感に乏しく推移。114.88レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	休場

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.10-115.10	1.1250-1.1350	128.50-130.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はじり安で円高が進行。東京時間にはマクロン仏大統領が提案した首脳会談にバイデン米大統領とプーチン大統領の双方が合意したとの報道を受け115.11をつけるもその後は軟調に。海外時間ではパウマンFRB理事が3月に50bp利上げを否定しないなどドル高要因もあったものの、プーチン大統領のウクライナ親ロシア地域の独立承認の動きによる地政学リスクの高まりをうけ原油高、欧州株安、ドル円は円高に推移し114.72レベルでクローズ。本日のドル円もウクライナ情勢を巡るヘッドラインを警戒し、上値の重い推移継続を予想。プーチン大統領によるウクライナ親ロシア地域の独立承認の動きにより米や英国など西側諸国との対立が激化し、対ロシア制裁の発表が意識されるため、昨日同様リスクオフの流れは継続しよう。また、本日発表される米2月PMIでは感染収束に伴い総じて堅調な結果が予想されるが、現在はウクライナ情勢が注目であり影響は限定的か。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。